



平成28年度 試験研究成果発表会のご案内

1. と き 平成29年2月1日(水) 13:00~16:00

2. ところ 森林林業技術センター 講堂・木材利用実験棟
(宍粟市山崎町五十波430 TEL: 0790-62-2118、2枚目地図参照)



3. 発表内容

①治山事業地におけるシカ食害防除資材を使用した植栽木の生育状況

(資源部主任研究員 藤堂千景)

兵庫県下ではニホンジカの植生被害が多く、苗木植栽時にシカ食害防除資材を使用する事が多くみられます。今回は、治山事業地においてシカ食害防除資材を使用した植栽木の生育状況を調査しましたので、その結果を発表します。

②伐採時期の異なるコナラ切り株へのカシナガキイムシの穿孔選好性および繁殖特性の評価

(資源部臨時職員 松本崇)

カシナガキイムシは、12月伐採株(穿孔6ヶ月前)や生立木よりも、6月伐採株(カシナガ穿孔時期)を選好しました。繁殖成功も6月伐採株で最も高い結果となりました。すなわち、穿孔時期に伐採した場合、切株はカシナガの誘引・発生源となることがわかりました。

③世界森林資源評価 2015 から読み解く森林現況と今後の技術開発 (所長 松本聡)

毎年森林林業白書が刊行され、施策の課題や今後の方向性さらに資源状態の把握が可能です。しかし、経済のグローバル化やアジア各国の成長は不透明感を孕みながら今後も続くと思われる。特に長期間を要する林業ではその将来を考えるヒントとして、最新の世界森林資源評価を繙きながら今後の取り組み方向について考えていきます。

④広葉樹材の現状と利用 (木材利用部主席研究員 山田範彦)

資源の枯渇や合法木材厳守化等から南洋の天然広葉樹材が手に入らなくなり、これらの代替材の開発が急務となっています。この問題に対応するため、当センターでは、コナラスギ複合材の開発や、センダン等早生広葉樹の育成を検討してきました。その概要について発表します。

⑤木材強度測定システム「WoodFFT」の実用化 (資源部主任研究員 小長井信宏)

強度表示された県産木材製品を中小製材工場が供給できるよう、建材メーカー、製材所および当センター等によるグループが簡易で安価な木材強度測定システム「WoodFFT」を開発・改良し、木材製品の地域ブランド化を推進している状況について発表します。(公開試験あり)

※その他、無人走行フォワーダのビデオ放映や、山地災害リスクを低減する技術開発(CS立体図等)のパネル展示等も行います。

4. 申込 (定員80名、参加無料、先着順。 申込〆切: 1/25(水))

①2枚目の参加申込書に記載し Fax 送信、②2枚目の参加申込書内容を明記したメールを Nouringc_shinrin@pref.hyogo.lg.jp まで送信、のどちらかによりお申し込み下さい。

内容に関するお問い合わせは 山瀬(資源部)、岩村(木材利用部)まで (TEL 0790-62-2118)

兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター
 「平成28年度 試験研究成果発表会」参加申込書

開催日時：2月1日(水) 13:00～

所属	職名	氏名	連絡先 (Tel)



中国自動車道山崎インターチェンジから
 国道29号線を北上(約10分)
 国道29号線の距離標(キロポスト)「29.3」を過ぎ
 山崎神野郵便局手前で左折
 道なりに450m進み、右折後200mで本館着

